

友情

みなさんは、「友情」と聞いてどんなことを思い浮かべますか？そう聞かれると、一緒に笑い合ったり、遊んだりする楽しい時間を思い出す人も多いと思います。しかし、「友情」はただ楽しいだけの関係ではないと僕は思います。長い時間を過ごすと、意見が合わずにつかったり、少し距離ができてしまったりすることもあると思います。楽しいだけじゃなくそうした経験の中にも、友情を深めるための大切な学びがあるのです。

僕は中学三年生のころ、サッカー部に所属していました。そして、練習試合の後にチームメイトとケンカをしました。理由は、試合であまりパスを出さなかったことが原因でした。最初は「自分なりに考えてプレーをしたのに」と責められたことに納得がいきませんでした。その後も口を利かないままの日々が続き、チームの雰囲気も次第にぎくしゃくしてきました。1週間もたつと、怒りも消え僕から「ごめん」と伝えました。すると、「言い過ぎた、ごめん」と笑って言ってくれました。その瞬間、気まずさが消え、前よりも信頼できる関係になったと感じました。

僕は友情には「信頼」と「勇気」が欠かせないと思っています。「信頼」は、普段の言葉や行動の積み重ねから生まれます。うそをつかない、約束を守る、相手の気持ちを大切にする——そんな小さなことが、友情の土台を作ります。でも、時にはぶつかり合ったりするときもあります。その時は自分から歩み寄る「勇気」を持つことが大切です。謝ったり、正直な気持ちを伝えたりすることが、友情をより強くするのだと思います。

みなさんがこれから過ごす学校生活の中では、楽しいことあれば、時には悩むこともあるでしょう。そんなときこそ、友達の存在が大きな力になります。友情は、勉強や部活動と同じように、みんなの心を成長させてくれる大切な経験です。おたがいを思いやる気持ちを忘れずに、温かい関係を築いていってください。